

平成29年度  
事業計画



中国経済連合会

# I. 事業方針

わが国経済は、世界経済の回復を背景に、堅調な輸出や生産に牽引されて緩やかな回復基調にあるものの、個人消費など内需は伸びに欠けており、景気回復には力強さが感じられない状況にある。さらに、米国の通商政策の動向や欧州の政治情勢、反グローバリズムの高まりなど、地域経済にも大きく影響する様々なリスクがあり、先行きに不透明感が高まっている。

加えて中国地方は、グローバル競争の激化などによる産業空洞化や人口減少・高齢化の急速な進展に伴い、地域の疲弊・衰退が深刻化しており、解決すべき課題は山積している。

こうした状況の中で、今後当地方が持続的な発展・成長を遂げていくためには、地域の持つ強みや資源を最大限活用し、地域の総合力を結集して自立的な取り組みを実現していくことが不可欠である。

このような認識のもと、当連合会では、昨年度、今後の取り組みの方向性をまとめたビジョンを策定し、「活力に溢れ豊かさが実感できる中国地方」を目指すべき将来像として掲げ、地域の自立と連携による広域経済圏の確立を指向した取り組みを進めていくこととした。今年度は、ビジョンの具現化に向けて中長期的な視点から「産業」づくり、「地域」づくり、そして「人」づくりのための事業活動を展開していく。

「産業」づくりでは、産学官連携を通じて基幹産業であるものづくり産業の競争力を強化するとともに、次代を拓く新たな成長産業の創出を図っていく。同時に、産業活動の基盤となる低廉で安定的なエネルギーの確保に取り組む。また、地域活性化の原動力となる観光産業については、外国人観光客の受入環境整備やプロモーション活動をはじめ当地方一体となってインバウンド観光を推進するとともに、地域の魅力ある資源を活用した観光地づくりなどブランド育成に取り組む。

「地域」づくりでは、行政等と連携して圏域の拠点となる都市機能の強化を支援するとともに、農商工連携事業の推進などにより中山間地域の再生に取り組む。また、広域経済圏の形成に不可欠な道路、港湾、空港など交通・物流基盤や情報通信基盤の整備を促進する。

産業や地域づくりを進めていく上で欠かせないのが「人」づくりである。産業振興を支え地域に定着する若い人材や高度人材を育成していくと同時に、女性や外国人など多様な人材が活躍できる環境整備を図っていく。

以上の基本認識に立ち、次の3点を活動方針として事業活動に取り組むこととする。

1. 地域産業の振興
2. 広域経済圏の形成に資する基盤整備の促進
3. 地域社会を支える人づくり

## Ⅱ. 重点事業

※下線部は平成 29 年度新規事業

事業方針	平成 29 年度 重点事業		委員会
	事業項目	活動内容	
<b>1. 地域産業の振興</b>			
(1) ものづくり産業の競争力強化	① 生産・サービスプロセスの高度化促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>I o T の現場への実装推進</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I o T の実装に関する先進導入事例等の調査</li> <li>・ 中堅・中小企業に対する実装へのニーズ調査</li> <li>・ 導入対象企業の選定, 具体的支援内容の検討</li> <li>・ 支援体制の構築</li> </ul> </li> <li>○ 「ひろしま生産技術の会」等への参画によるロボットの普及促進</li> </ul>	産業技術 情報通信
	② 中堅・中小企業の研究開発機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>研究機関のシーズと企業のニーズをつなぐスキームの構築</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中堅・中小企業における地域内外の試験研究機関等の活用状況・ニーズ調査</li> <li>・ 中国地方の試験研究機関, 公設試等有する機能や各県の研究開発支援等についての情報収集</li> </ul> </li> </ul>	産業技術
	③ アジア新興国等への企業進出支援, 事業展開・輸出促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>マレーシアとの交流事業の実施</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マレーシア投資開発庁 (M I D A) との M O U 締結, マレーシアの現地調査</li> <li>・ 相互交流事業の検討 (進出企業等の課題把握, 投資開発庁への改善・支援要望)</li> </ul> </li> <li>○ <u>輸出促進事業の実施 (海外での国内製品の販促事業・バイヤー招聘事業等)</u></li> <li>○ ジェトロ等との連携による海外事業展開支援セミナー等の開催</li> </ul>	国際
	④ 外国人材の活用拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>企業の外国人材の活用等の実態把握及び規制緩和要望の実施</u></li> <li>○ <u>外国人材の活用方策・留学生就業の支援策等の検討, 就労推進</u></li> </ul>	国際
	⑤ 企業の国際化支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>バルト経済圏諸国へ視察団を派遣し各国の社会経済動向, ビジネス環境, エネルギー政策を調査</u></li> <li>○ 海外展開に有用な基礎情報の収集・提供</li> </ul>	国際
(2) 次代を拓く新たな成長産業の創出	① 企業や大学等における新たな技術・製品開発への自律的な取り組み支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業間マッチングネットワーク (リンカーズ) を活用したマッチングの拡大と課題解決</li> </ul>	産業技術
	② デジタル技術を駆使したビジネス革新 (デジタルイノベーション) に資する基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>(公財) ちゅうごく産業創造センター調査事業への参画によるデジタルイノベーション拠点構築に向けたロードマップ策定</u></li> <li>○ <u>デジタルイノベーションに関する情報提供, 啓発活動の展開</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタル技術・情報を利用して事業変革・業務効率化に取り組む企業や支援機関等の視察会の開催</li> <li>・ A I, ロボット等に係る講演会の開催</li> </ul> </li> </ul>	産業技術
	③ 地域のシーズ技術を活用したベンチャー企業の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>大学発ベンチャーの情報収集・発信と課題解決</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「けいはんなベンチャー通信」への掲載による他地域への情報発信</li> <li>・ 「中国地域産学官コラボレーション会議」を通じた情報の収集・発信</li> </ul> </li> </ul>	産業技術
	④ 産学官連携強化によるイノベーション創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「中国地域産学官コラボレーション会議」を通じた情報収集・発信のハブ機能強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域イノベーションシンポジウムの開催</li> <li>・ 会員機関における課題共有と広域連携による課題解決</li> </ul> </li> </ul>	産業技術
	⑤ メディア連携による新規事業創出・企業間連携や新サービスの展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ インターネット時代の地方放送局のあり方に関する講演会・研究会の開催</li> </ul>	情報通信

事業方針	平成29年度重点事業		委員会
	事業項目	活動内容	
(3) “山陽” “山陰” ブランド育成による観光産業の振興	① 外国人観光客の利便性向上に向けた環境整備	○ 外国人観光案内所のあり方調査の実施 ・外国人周遊方策調査（(公財)ちゅうごく産業創造センター実施）の結果を踏まえた外国人観光案内所の整備・充実に に向けた調査の実施	観光文化
		○ W i - F i 環境の整備促進（アクセスポイント整備，共通ポータル構築） ・中国5県，「中国地域観光推進協議会」等と連携し「中国地域発展推進会議」に具体的な取り組み案を提案 ・W i - F i 課題解決プランの策定と実行推進	観光文化 情報通信
	② インバウンド市場の拡大方策の検討・実施	○ ハラル等多様な宗教への対応促進に向けた調査の実施	観光文化
	③ 歴史的な地域資源活用による観光地づくりへの支援	○ 歴史的な町並み保存や古民家の再生に向けたプロジェクトへの参画と課題解決に向けた支援 ・雲南市吉田地区，出雲市平田地区ほか	観光文化
	④ 歴史・文化的に魅力ある街道を活かした地域活性化	○ 「夢街道ルネサンス」「日本風景街道ちゅうごく」の取り組み継続	観光文化
	⑤ 観光地の魅力向上を通じた誘客促進	○ 「中国地域の観光地の魅力度調査」の継続実施	観光文化
(4) 低廉で安定的なエネルギーの確保	① S + 3 E のバランスのとれたエネルギー・環境政策の促進	○ エネルギー・環境政策の動向，産業界への影響等に関する調査（講演会・視察会の開催等），提言・要望の実施 ・エネルギー基本計画の見直しの動向 ・カーボンプライシング導入など温暖化対策の長期戦略，パリ協定以降のC O P の動向	エネルギー 環境
		○ 原子力早期再稼働に向けての機運醸成，要望 ・他の経済団体等と連携し，原子力発電の有用性や原子燃料サイクルに関して，普及啓発や施設見学を実施，早期再稼働に 向けて国への要望 ○ エネルギーシステム改革（主として発電電の法的分離）に伴うリスク要因の検討，要望	
	② 次世代エネルギー・低炭素化に係る技術開発の促進	○ 「水素・次世代エネルギー研究会」「周南市水素利活用協議会」等とともに，水素や低炭素化に係る技術開発動向の調査（講演会・視察会の開催ほか） ○ 「水素関連事業創出研究会(仮称)」（周南市が設立検討中）等との連携を図りながら，企業間の情報交換，水素インフラ整備等の支援 ○ 低炭素化に資するスマートコミュニティに関して，導入を検討中の行政と連携し普及啓発等の支援	エネルギー 環境

事業方針	平成29年度重点事業		委員会
	事業項目	活動内容	
<b>2. 広域経済圏の形成に資する基盤整備の促進</b>			
(1) 圏域の拠点となる都市の機能強化	① 行政と経済界が協働して取り組む施策への参画・意見反映	○ 広島県・広島市の総合戦略評価・改定への参画・意見具申 ・ 広島県外部評価会議への参加・意見反映 ・ 広島市拠点性強化懇話会・WGへの参加・意見反映 ○ 中海・宍道湖・大山圏域事業の推進支援 ○ 中国圏広域地方計画のフォローへの参画	地域づくり
	② 広域連携・高次都市機能強化ならびに交通基盤整備の促進	○ 広島、中海・宍道湖・大山圏域等における広域連携・高次都市機能強化及びこれに資する交通基盤整備に向けた調査、提言・要望の実施	地域づくり
(2) 中山間地域の再生	① 先進的モデル事業の発掘と事業化支援の推進	○ 地域づくりに資する先進的モデル事業の発掘、支援策の実施	地域づくり
	② ローカルネットワークの効果・影響の把握と地域振興に資する提言の実施	○ 交通ネットワークが地域に及ぼす効果・影響の把握と「小さな拠点」を中心とした地域振興策の提言	地域づくり
	③ 企業のノウハウを活用した農商工連携事業の展開	○ <u>企業とのマッチング調整による事業化支援</u> ・ 「農商工連携研究会」を「中国地方農商工連携協議会」に改組し農商工連携マッチングのプラットフォームとして活用 ○ 経済産業省「農商工マッチング事業」との連携・事業推進等により、企業との連携事業を調整 ○ <u>農林水産品輸出事業の実施（海外での国内産品の販促事業・バイヤー招聘事業等）</u>	地域づくり
(3) 広域的な連携・交流を促進するネットワークの整備	① 基幹道路網の更なる整備・利活用促進	○ 広域ネットワーク（山陰自動車道）の整備促進 ・ 関係機関（県・商工会等）と連携し、地域振興策及び山陰自動車道整備促進に資する提言・要望を実施 ○ ローカルネットワーク（下関北九州道路をはじめとする都市圏・都市間道路）の整備促進強化 ・ 中国地方整備局・各県等との連携を強化し官民一体となった整備促進活動を展開 ・ 会員企業等との意見交換の場の拡大 ○ 老朽化・安全対策等の整備促進	地域づくり 関門連携
	② 地域拠点港の振興に向けた整備・利活用促進	○ 中国地方国際物流戦略チームの基本方針改定 ・ 各港湾の連携を主眼に策定	地域づくり
	③ 地域の拠点空港の利便性向上の促進	○ 広島空港をはじめとする地域拠点空港の機能強化に向けた提言の実施	地域づくり
	④ 情報基盤の整備による地域課題解決の促進	○ 個別自治体との連携による地域課題の解決に向けたワークショップ（倉敷市ほか）への参画 ・ 参画を通じ当地域に定着する高度ICT人材・企業を育成 ・ エネルギア総合研究所・（公社）中国地方総合研究センターとの共同研究を通じて、対象領域の特定、成功キーポイントの明確化、自治体への提言の実施 ○ ICT研究会・ITS研究会の開催	地域づくり 情報通信
(4) 地域の活性化に資する地方分権等の実現	① 地域経済の発展に資する税制改革等の推進	○ 地域経済の発展に資する税制改革等について政府等への提言・要望の実施 ○ 財政再建、税制改革、社会保障制度改革に関する講演会の開催	行財政
	② 地方分権の推進、分権型道州制を見据えた機運の醸成	○ 地方分権・広域連携に資する講演会の開催	行財政
	③ 官民連携による広域的な課題解決の促進	○ 「中国地域発展推進会議」「中四国サミット」を通じた官民連携による広域課題への取り組みを推進	

事業方針	平成29年度重点事業		委員会
	事業項目	活動内容	
<b>3. 地域社会を支える人づくり</b>			
(1) 産業振興を支える人材の育成	① 学生の就業意識の向上支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>教育効果を重視したインターンシップのしくみづくり</u></li> <li>・低学年次生を対象にした目的別インターンシップコース試行の準備</li> <li>○ <u>地域企業に対する「地域で育てる意義」の啓発と地域企業の魅力の訴求</u></li> </ul>	産業技術
	② 若者の起業意識の向上支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャンパスベンチャーグランプリを活用した起業意欲のある学生への教育環境の提供</li> <li>・スタート時モチベーションアップメニューの充実（起業家との交流）</li> <li>・全国大会への学生派遣（全国の学生との交流）</li> <li>○ <u>起業を目指す学生のバックアップチームづくり</u></li> </ul>	産業技術
	③ プロフェッショナル人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>IT人材育成WG設置に向けた取り組み</u></li> </ul>	情報通信
(2) 多様な人材の活躍推進の支援	① 働き方改革の取り組み促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>働き方改革・女性の活躍促進に向けた行政と連携した施策への参画</u></li> <li>○ <u>働き方改革・生産性改善に向けた企業の取り組み支援</u></li> <li>○ <u>中国地域企業の外国人材の活用等の実態把握及び規制緩和要望の実施</u></li> <li>○ <u>働き方改革・就労と子育てが両立できる環境整備等（育児サービス、税制・社会保障制度）に関する提言・要望の実施</u></li> </ul>	地域づくり

Ⅲ. 行政・経済団体等との連携・懇談活動等

事業項目	活動内容
1. 行政・経済団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中国地域発展推進会議や中四国サミット等を通じ、行政と経済界が一体となって広域的課題に取り組む。</li> <li>○ 中国地方経済懇談会や西日本経済協議会等の活動を通じ、経済団体間の交流・連携を強化する。</li> <li>○ 関門連携委員会において、九州経済連合会と協働して関門地域の振興に取り組む。</li> </ul>
2. 懇談活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中国地方選出の国会議員と懇談会を開催し、国等への要望活動への理解・支援促進を図る。</li> <li>○ 地区会員懇談会や新会員懇談会を開催し、会員と意見交換を行い事業活動に反映する。</li> </ul>
3. 支援・協働活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域経済研究推進協議会を通じ、地域の大学・シンクタンクの研究活動を支援する。</li> <li>○ 各種審議会や委員会等への参画を通じ、地域の活性化に資する活動を支援する。</li> </ul>
4. 広報・組織強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会報・ホームページによる広報やマスコミへの情報提供を通じて、事業活動の理解促進を図る。</li> <li>○ 組織基盤の強化を図るため、会員増強に取り組む。</li> </ul>
5. 一般社団法人への移行	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 定款を作成し設立登記を行う。</li> </ul>